



6月の梅雨空の下 庭に

アジサイの花が咲いています



大阪にてパート9

神戸営業所

堺営業所で気分良く過ごしていた私に支店まで来るようにと招集がかかりました。何か問題が起こりませんか？と少し不安な気持ちで支店におもむき管理課長に何事かと聞いてみましたが、課長はニヤニヤしているだけで「まあ支店長に会って話を聞いたらいとだけしか言いません。」

不安なまま支店長室に「籠谷です、入ります」と言って入室しました。支店長は「まあそこに座って」と応接椅子をすすめ「管理課長も呼んでくれ」とそこにいた秘書の女性に指示して、やがて管理課長も入室して来ました。「堺営業所はどうかね」「はい、代理店が1店できまして、月間

の売り上げも6000台を維持できております」と報告、支店長にはまあまあですとか、なんとかやっていますとか曖昧な言い方の報告は厳しく叱られますので、しっかりと数字で報告しないとダメですね。「そうかそれは何より」支店長は何でも知っている癖なのに私は思っている。今日は言われるのか不安でした。「ところで急なことで申し訳ないのだが、来月から神戸営業所に行くってくれ」神戸営業所は大阪支店で一番大きな予算を持つている営業所で代理店の数も一番多い所です。「はい、神戸営業所の所長の元で勤めると言うことですね」「いや、君が神戸営業所の所長で、神戸の所長が堺の所長に交代する」「え！私が神戸の所長で

すか」私は耳を疑いました。管理課長の方に目を向けると課長はニコニコして頷いていました。そんな大きな営業所を私に務めるのか？堺はこれからと言う時にどうなるのか、いろいろ頭をよぎりました。神戸の所長は佐伯猛と言う人ですが、彼の噂は堺でも聞こえてくるほど豪快な人です。何が豪快かと言うと噂ですが、お酒が好きで、女に目がなく酒と女で家を一軒売ってしまったとの事、支店長とはある意味よく似ているのではと思っていたのでこの人事は意外でした。堺の私が神戸に、神戸の佐伯さんが堺に、不思議な人事です。「私に神戸のような大きな営業所が務まるでしょうか？」「務まるか、務まらないかやってみないかとわからないなあ」つっけんどんに答えが返って来ました。支店長はこうした質問を嫌っていたのを

思い出し、しまったと思いました。後祭り、私は「分かりましたしっっかり勤めさせて頂きます」と言っただけで務まるのかはやってみるしかないなあ」と覚悟を決めました。管理課長が「大丈夫、籠谷さんなら務まるよ、今までの神戸のことは私から話をするから、実務は佐伯所長から聞いてくれ」と言ってくれました。いつから行くのか？そして家はどうか？そうすることは管理課長と相談です。支店長室を出て管理課長と二人で地下の喫茶店に移動、そこで神戸の現状を聞きましたが、大変な事になっていました。売り上げが減って来ている、代理店が2店やめてしまっている、営業マンから不満の直訴が来ている等聞かされ、私に立ち直せ！との命令だそうなんです。私は神戸の現状はどうなっているかに関して、幾つか質問しました。営業マンは何名、代理店は何店、売り上げ目標は、事務員はどんな人、色々情報を得て私は堺営業所に帰りました。

早速事務員にこのことを告げ営業マンを集めてくれる様に頼んで、管理課長から神戸にはなるべく早く行くように支店長が言っているの、1週間後に行ってくれと言われてまたまたスピードが求められていたなあと思いましたが、すみかを神戸に移らねばなりません、暫くは堺から通うことになりそうです。3日後営業マンと事務員が集まりその席で神戸に行き神戸の所長が堺に来ると告げみんな驚いていましたが、決まったことは仕方ない。今後佐伯所長の元頑張る様になって、私は神戸の佐伯さんに会いに行きました。彼は私と同じ昭和15年生まれですが1月生ま

れで私が3月ですので2ヶ月ヶ月お兄さんになります。背は私より2センチ程高くお腹が出ていてでっぷりした体でお世辞にも良い男と言えませが、女にモテるようで性格が優しいのでしようね。私と二人切りで会うのは初めてです。この人とこの先82歳の今でも彼は博多、私は京都で電話で話している当時の会社の中で唯一の友達になろうとはその時は神様も気づかなかったことでしょうね。

彼は初めから私に仕事のことより神戸を引き継ぐに当たって、どこの飲み屋が安くていい女がいるとか、どこの代理店の事務員が自分に気があるとか、酒の話と女の話ばかり楽しそうに話すのです。その中で失敗談として、営業所に二人の事務員がいたのだそうで、一人は23歳の娘で今でもいますが、もう一人は19歳で入社して来て佐伯さんがすぐ手を付けたそうです。それが失敗の元でみんなに知れ渡ってしまったのは、その娘のお父さんがヤクザで「よくも女房もありながら、娘に手を

付けてくれたなあ！」と事務所と佐伯さんの家に怒鳴り込んだそうです。事務所は大騒ぎに、代理店にも知れることに、それが直接の原因で交代になったのかと私は思いましたが、「それで、奥さんはどうしました？離婚でも？」佐伯さんは奥さんと子供が3人いるのですが、その娘は佐伯さんと結婚したいと言っていたようです。

「なに、うちの奴は腹が座っていて、そんなにうちの亭主が欲しければノシを付けてあげるから持っていくんしゃい」と九州弁で言ったそうです。ヤクザもこれには驚いて諦めて帰って行ったそうです。そんな話を面白そうに話をする佐伯という人に私は少し興味をもち相手も私を2ヶ月下の弟のように感じたそうで、それからふたりはリコー教育機器大阪支店で悪童友達になり数々の悪戯をこの後行つて行き、支店長を悩ます事になります、それは又次回で……

籠谷 弘



歌声喫茶 7月の予定

「洛西」(第1、3木曜日)

7月 7日、21日

楽々亭第21回6月の予定

6月13日(月)

西京区役所洛西支所会議室

午前10時～12時



ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町1丁目1番地4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。